

この「マクルーハン・テレグロ  
ーブ・カナダ賞」は賞金五万カナ  
ダドルおよび記念メダルからな  
っており、今年から二年ごとに贈ら  
れる。対象は個人またはグループ  
で、国籍は問わない。(団体や企  
業は対象外)

### 海水や汚水から飲料水 カナダ製の造水機を輸入

海水や河川水などを手軽に飲料  
水に変えてくれるカナダ製の造水  
機が、日本でも販売されている。

この簡易造水機は、ブリティッ  
シュ・コロンビア州にある脱塩機  
専門メーカー、シーゴールド・イ  
ンダストリーズ社が製作したもの。  
逆浸透(RO)膜を内蔵し、海水  
や汚水、河川水に圧力(逆浸透圧)  
をかけて水中の塩分や有機物、微  
生物を除去する。レバーを軽く動  
かすだけで、一時間に六リットル  
の清水がでるという。  
日本で輸入販売しているのは、  
アルバックサービス(神奈川県茅  
ヶ崎市)。

### カナダ関係の本、相次ぐ出版

最近、日本で、カナダ関係の本  
が相次いで出版されている。その  
主なものをあげてみよう。



長岡沙里訳『失われた  
祖国』(二見書房)

工藤美代子、S・フィリップス  
共著『晚香坡の愛 田村俊子と鈴

### 本悦 (ドメス出版)

工藤美代子著『黄色  
い兵士達 第一次大戦  
日系義勇兵の記録』(恒  
文社)

真壁知子著『写真婚の妻たち  
カナダ移民の女性史』(未来社)

宮松宏至著『インディアン居留  
地で見えたこと』(草思社)

煎本孝著『カナダ・インディア  
ンの世界から』(福音館)

須磨未知秋著『赤い  
楓の国から』(創元社)

C・W・ニコル著、竹内和世訳  
『ほくのワイルド・ライフ』(クロ  
スロード)

ファーレイ・モウワ  
ット著、磯村愛子訳『船  
になりたくなかつた船』  
(文春文庫)

### カナダ産さくらんぼ 日本に初輸出

カナダ産さくらんぼが、今年、  
初めて日本にお目見えした。

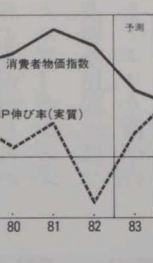
日本に輸出されたのは、気候と  
土壌に恵まれたブリティッシュ・  
コロンビア州オカナガン盆地で育  
つたランバート種で、粒が大きく  
て甘いのが特徴。七月上旬、日本  
政府が派遣した植物検疫官の立会  
いのもとに産地で品質検査を受け  
たのち、五千四百ケース(五十四  
トン)がフレッシュなまま飛行機  
と船で日本に出荷され、一般の果  
物店や八百屋、デパートなどで販

売された。評判はおおむね上々。

### カナダ経済が回復基調に GNP、マイナスから脱出

長く低迷していたカナダの景気  
が、ここに来て大きく好転の気ざ  
しを見せている。

まず一九八一年の第二・四半期か  
らマイナス成長を続け、昨年は大  
恐慌以来最悪のマイナス四・八バ  
ーセントを記録した国民総生産(G  
NP)は、今年の第一・四半期に入  
って実質一・八パーセント(物価  
上昇分を含めた名目では三・四バ  
ーセント)の伸びを示した。在庫  
が昨年第四・四半期に続いて減り続  
け、住宅の売れ行きが増え、個人  
消費が好転したのが主な原因。  
八一年以来、一時期を除いて下  
降し続けていた住宅着工件数は、  
四月以降も増加傾向にあり、また  
工業生産指数も上昇の一途をたど  
っている。



Statistics Canada

昨年には二ケタ台にあつたインフ  
レションも、五月には一九七二年以来最  
低の五・四パーセント(年率)に  
下落した。  
失業率だけは依然として一二バ  
ーセント台にあるが、インフレは  
今後沈静し続け、経済成長率も

ラロンド蔵相が年初に予測した二  
・三パーセントをこえるものと見  
られており、製造業を中心に雇用  
は徐々に回復するものと思われる。  
雇用増大と景気回復に重点をおい  
た政府予算、米国経済の立ち直り  
といった明るい要因に支えられて、  
カナダの景気は上昇傾向をさらに  
強めていくものと期待されている。

### テリー・フォックスの映画完成

がんで右足を失いながら、がん  
研究募金のため義足でカナダ横断  
マラソンに挑み、途中で不帰の人  
となつた青年テリー・フォックス  
の生涯が映画となつて、六月から  
カナダとアメリカ(ベイテレビ)  
で上映されている。

ロバート・クーバー製作、ラル  
フ・トーマス監督で、主役はテリー  
と容貌も体格もそっくり、しか  
も十八歳でがんのため右足を切断  
した点まで同じというエリック・  
フライヤー君が演じている。

### 今年度は十五万三千台に カナダ向け乗用車輸出枠

今年四月から来年三月までの日  
本製乗用車のカナダ向け輸出台数  
は、十五万三千台以下とすること  
で両国間で了解に達した。これは、  
今年一月から来年三月末まで十五  
か月間のカナダ向け乗用車台数は  
最高二十万二千台、という日本政  
府通産省輸出予測に基づくもの。  
両国政府は二月中旬、今年上半

期の輸出台数枠を暫定的に七万九  
千台と決め、改めて一月から来年  
三月までの台数を決める協議を続  
けていた。その結果、年度ヘース  
で昨年より一万八千台少ない台数  
に落ち着いた。

リーガン通産大臣は、「これに  
より、カナダの自動車産業は国内  
市場での競争に対応する時間的ゆ  
とりができた」と、日本側の措置  
を歓迎している。

### 部品の国内調達を勧告 自動車問題特別委員会

全米自動車労働組合(UAW)、  
カナダ自動車部品工業会、自動車  
製造業者協会および北米主要自動  
車メーカーの代表で構成する自動  
車問題特別委員会は、五月十九日、  
カナダに輸入されるすべての外国  
製自動車にローカル・コンテンツ  
(国産自動車部品調達)制度を適用  
するよう勧告する報告書を政府に  
提出した。国産部品調達率は当初  
八五パーセントにすべきたとの声  
もあつたが、米加自動車協定で定  
められている率とほぼ同じ六〇バ  
ーセントに落ち着いた。

特別委員会は昨年十二月、「国  
内自動車産業のための戦略的・政  
策的代案を考慮する」目的で連邦  
政府が設置したもので、日本を含  
む外国自動車メーカーがカナダへ  
の設備投資を増やし、カナダ経済  
にもっと貢献して欲しい、との考  
えから今度の報告内容になつたと  
いわれている。